



取 付 説 明 書

	Vitz	NCP13
TOYOTA	PLATZ	NCP12

BLITZ

(1) 安全上のご注意

■ はじめに

- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

■ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。

ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。

- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。

【二柱式リフトをお勧めします】

やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジトラック（馬、安全スタンド）を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

■ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・ この製品の加工・分解・改造は行わないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたりする事があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

■ 重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。
整備要領書がお手元にはない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。
漏れのある状態での走行は、車輛火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットはハイオクガソリン指定となります。
レギュラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の原因になる場合がありますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。
燃料タンクのカソリン入れ換え作業は危険を伴いますので、特に火気に注意してください。
- ・ 本キットを取り付ける際は必ず点火プラグを熱価の高いものに交換してください。
- ・ 本キット内部品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。
場合によっては燃調 (セッティング) が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 弊社剥き出しタイプのアークリーナー (SUS POWER AIR CLEANER / SUS POWER CORE TYPE LM / SONIC POWER AIR CLEANER) を取り付けの際は、EFIヒューズを一度取り外し15秒以上経過後、再度ヒューズを接続してください。
エンジン始動後、アイドリング状態で5～10分間放置してください。
- ・ 品番10147 / 10149 / 10153キット取り付けの際にフューエルサクションチューブ ASSY W / ポンプ (樹脂部分) を削り加工する作業がありますが、加工作業後はフューエルサクションチューブ ASSY W / ポンプを十分に洗浄し加工粉などを完全に取り除いてください。加工粉などがフューエルサクションチューブ ASSY W / ポンプ内に残っていると、エンジン始動不良、エンジン不調等の原因になる場合があります。

【作業の方へお願い】

作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検してください。

■純正のホースやバンド等の部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換してください。

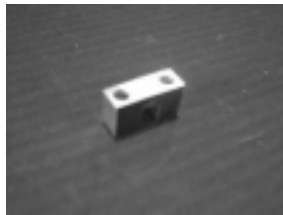
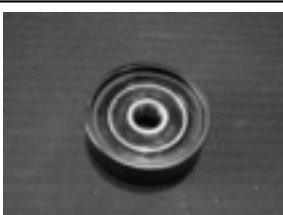
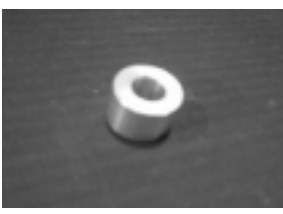
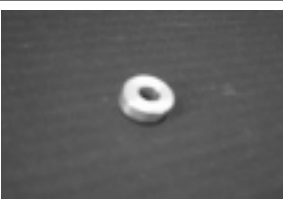
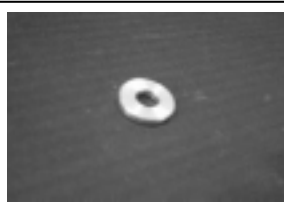
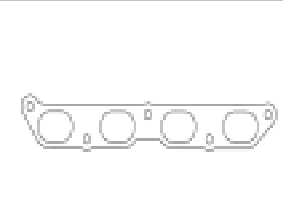
(2) 適合車種

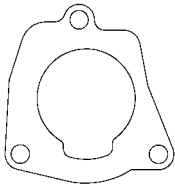
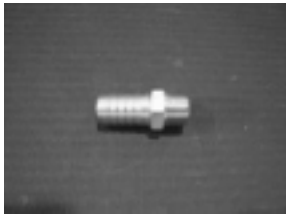
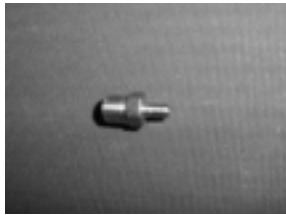
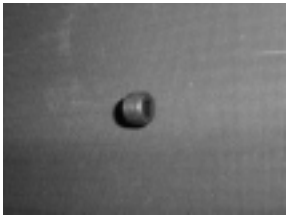
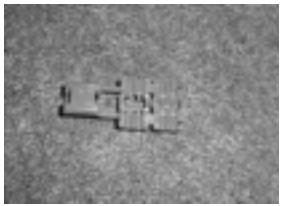
◇製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

- ☐車 名: TOYOTA Vitz
- ☐型 式: NCP13 MT車
- ☐E/G型式: 1NZ-FE
- ☐年 式: 2000 年 10 月～2005 年 1 月
- ☐製品番号: 10152

- ☐車 名: TOYOTA PLATZ
- ☐型 式: NCP12 MT車 2WD
- ☐E/G型式: 1NZ-FE
- ☐年 式: 1999 年 8 月～2002 年 7 月
- ☐製品番号: 10152

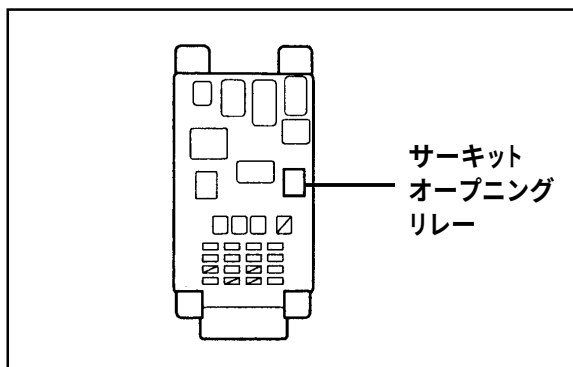
(3) パーツリスト

1. コンプレッサ-本体 1ヶ 	2. チャンバー 1ヶ 	3. インテークマニホールド 1ヶ 	4. インレットパイプ 1ヶ 
5. コンプレッサ-ガスケット 2ヶ 	6. オルタネーター-ブラケット 1ヶ 	7. テンショナー-ブラケットA 1ヶ 	8. テンショナー-ブラケットB 1ヶ 
9. コンプレッサ-ステー 1ヶ 	10. インレットパイプ-ステー 1ヶ 	11. レベルゲージ-ステー 1ヶ 	12. テンショナー-ボルト 1ヶ 
13. アジャスター-ボルト 1ヶ 	14. アイドラー-プーリー 1ヶ 	15. リフ付きプーリー 1ヶ 	16. プーリー-カラ-A 1ヶ 
17. プーリー-カラ-B 1ヶ 	18. ブラケットカラ-A 1ヶ 	19. ブラケットカラ-B 2ヶ 	20. インマニガスケット 1ヶ 
$\phi 22-\phi 12$ h=16.5mm	$\phi 18-\phi 8$ h=7mm	$\phi 22-\phi 10$ h=4mm	

21. スロットルホ`ディカ`スケツ 1ヶ 	22. Vベルト 2ヶ 	23. ニップル大 2ヶ 	24. ニップル小 1ヶ 
25. 沈みプラグ 1ヶ 	26. レギ`ュレター 1ヶ 	27. クラッチ用スイッチ 1ヶ 	28. リレ-ハーネス 1ヶ 
29. シリコンホ-ス 1ヶ 	30. ホ-スバンド` 2ヶ 	31. クランプ` 2ヶ 	32. タイラップ`L 10ヶ 
33. タイラップ`S 10ヶ 	34. コンプレッサー-プレート 1ヶ 	35. ϕ7コルゲ-ートチューブ` 1ヶ 	36. ヒューズ` 1ヶ 
37. 無鉛プレミアムステッカー 2ヶ 	38. 取扱説明書 1ヶ 	39. エレクトロタップ` 3ヶ 	40. ギ`ホ`シ`スリ-フ`セット 1セット 

①フランジ'ボ'ルト M6×16 7ヶ	②フランジ'ボ'ルト M6×35 2ヶ	③フランジ'ボ'ルト M8×20 1ヶ	④フランジ'ボ'ルト M8×30 2ヶ
⑤フランジ'ボ'ルト M8×35 1ヶ	⑥フランジ'ボ'ルト M10×25 1ヶ	⑦フランジ'ボ'ルト M10×35 1ヶ	⑧六角'ボ'ルト M10×55 3ヶ
⑨キャッ'ボ'ルト M6×25 2ヶ	⑩キャッ'ボ'ルト M8×20 2ヶ	⑪キャッ'ボ'ルト M8×30 2ヶ	⑫フランジ'ナット M6 6ヶ
⑬フランジ'ナット M8 2ヶ	⑭フランジ'ナット M10 2ヶ	⑮ワッシャー M10 3ヶ	⑯スタッド'ボ'ルト M6 5ヶ
⑰スタッド'ボ'ルト M8 3ヶ	⑱フランジ'ボ'ルト M8×45 1ヶ		

(4) 燃料流出防止作業

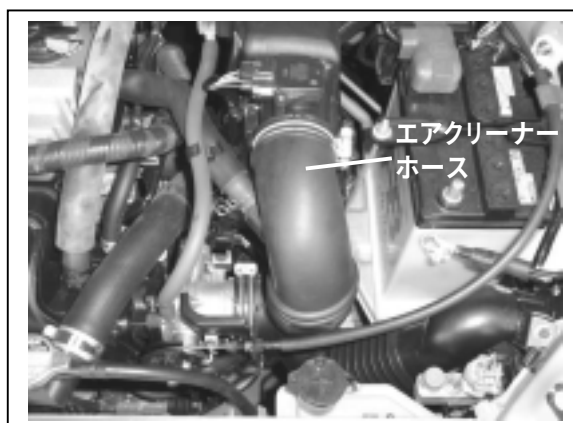


- (1) インパネJ／B内のサーキットオープニングリレーを取り外す。
 - (2) エンジンを始動し、自然に停止した後イグニッションスイッチをOFFにする。
 - (3) バッテリーのマイナス端子を取り外す。
 - (4) サークットオープニングリレーを取り付ける。
 - (5) フューエルキャップタンクをはずしフューエルタンク内の圧力を抜く。
- ※サーキットオープニングリレーは運転席ハンドルの右下にあります。

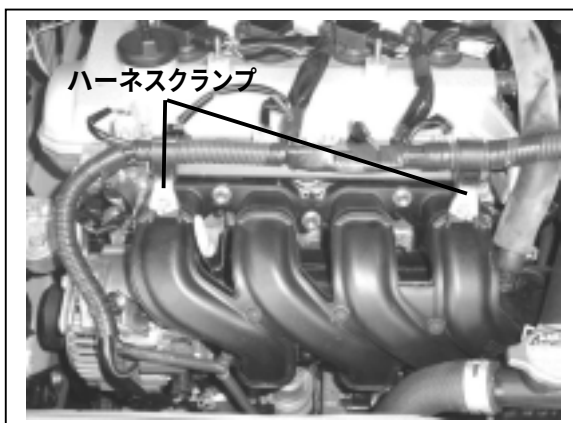
(5) 純正部品取り外し作業



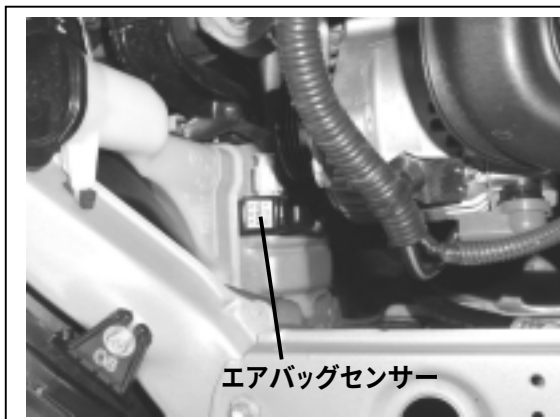
- (1) エンジンカバーを取り外す。



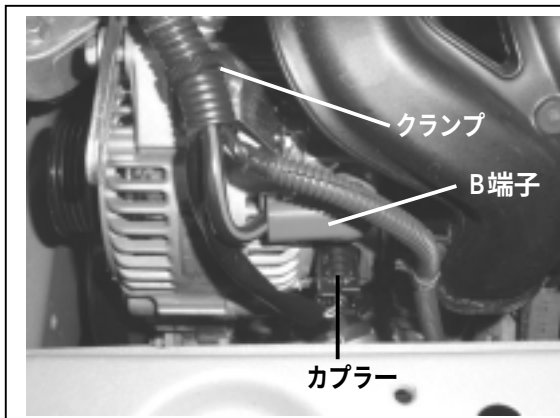
- (2) エアクリーナーホースを取り外す。



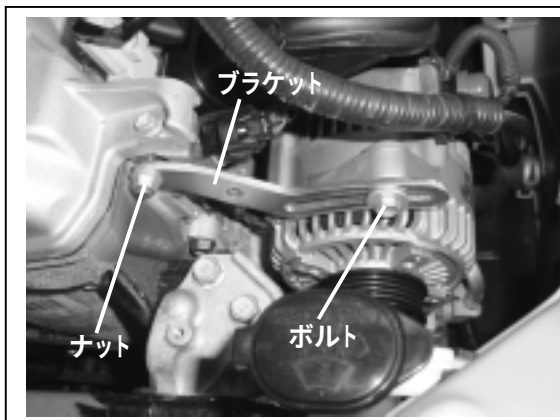
- (3) ボルト (2ヶ) とハーネスを留めているクランプを外して、ハーネスクランプを取り外す。



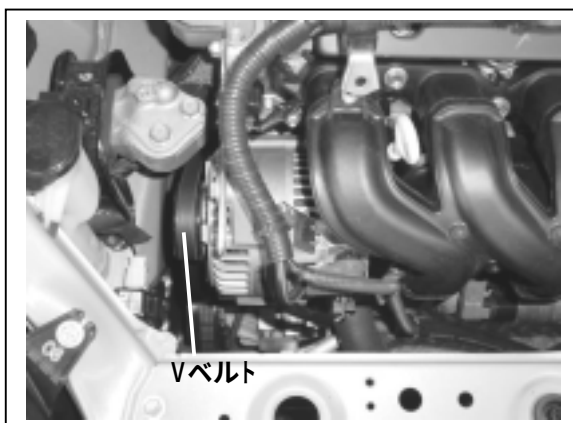
- (4) エアバッグセンサーを取り外す



- (5) オルタネーターのカプラーおよびハーネスクランプ、B端子を取り外す。

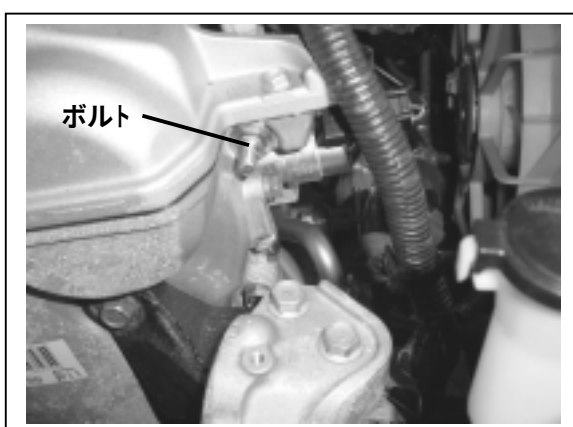


- (6) ボルト (1ヶ)、ナット (1ヶ) を外し、オルタネーターのブラケットを取り外す。



(7) Vベルトを取り外す。

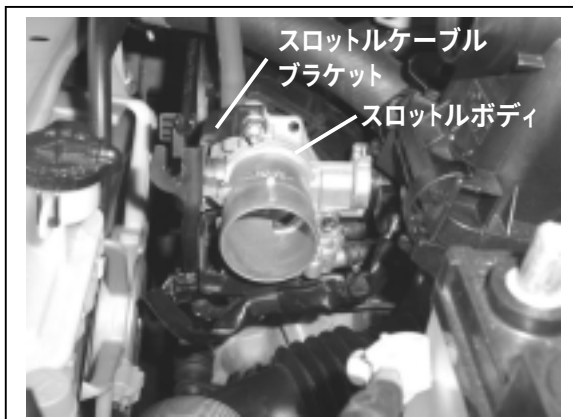
(8) オルタネーター下側を取り付けているボルト (1ヶ) を外し、オルタネーターを取り外す。



(9) 図のボルトを、取り外す。

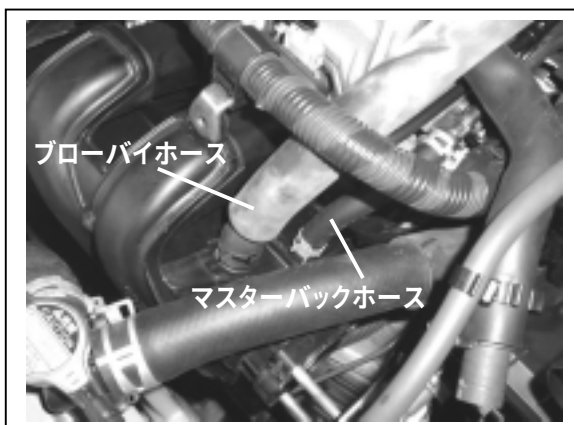


(10) スロットルケーブルを取り外す。



(11) ボルト (1ヶ)、ナット (2ヶ) を外し、スロットルボディおよびガスケット、スロットルケーブルブラケットを取り外す。

※ベンチレーションホース、ウォーターバイパスホース、カプラーは、外さなくても、作業できます。



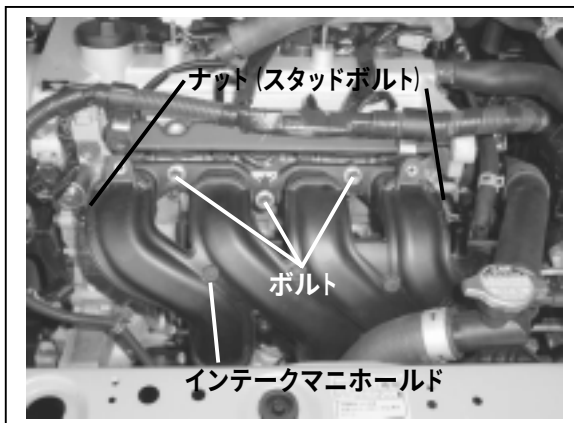
- (12) ブローバイホース、マスターバックホースを取り外す。



- (13) オイルレベルゲージガイドのボルトを外し、オイルレベルゲージガイドをフリーにする。



- (14) インテークマニホールドから、ハーネスクランプを取り外す。



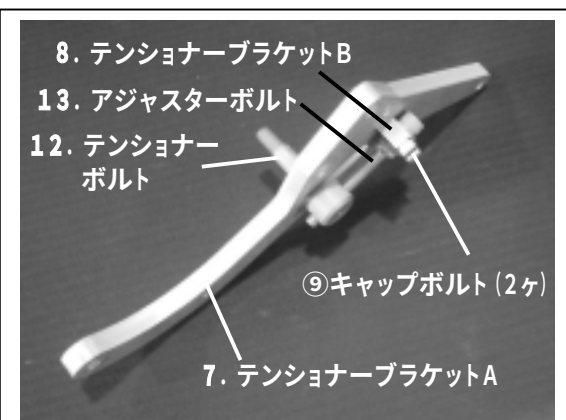
- (15) ボルト (3ヶ)、ナット (2ヶ) を外し、インテークマニホールドおよびガasketを取り外す。

- (16) ヘッド面の、スタッドボルト (2ヶ) を取り外す。

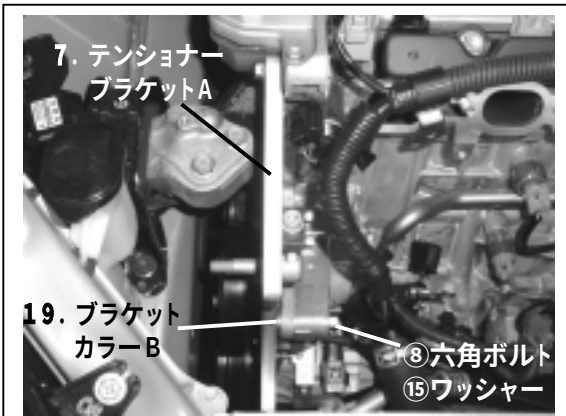
※インテークマニホールドが取り外しにくい時は、先にスタッドボルトを取り外して下さい。

(6) コンプレッサーキット取り付け作業

注意 締め付けトルク	M6	10.0N・m
	M8	18.5N・m
	M10	35.0N・m



- (1) ⑨キャップボルト (2ヶ) を使用して、7. テンショナーブラケットAに、12. テンショナーボルト、13. アジャスターボルト、8. テンショナーブラケットBを取り付ける。

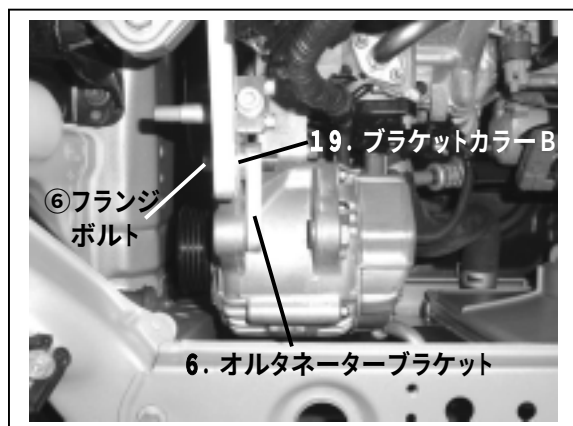


- (2) 18. ブラケットカラーA、19. ブラケットカラーB (1ヶ)、⑤フランジボルト (1ヶ)、⑧六角ボルト (1ヶ)、⑮ワッシャー (1ヶ) を使用して、7. テンショナーブラケットAを仮付けする。





- (3) 純正オルタネーターのステーを取り外す。

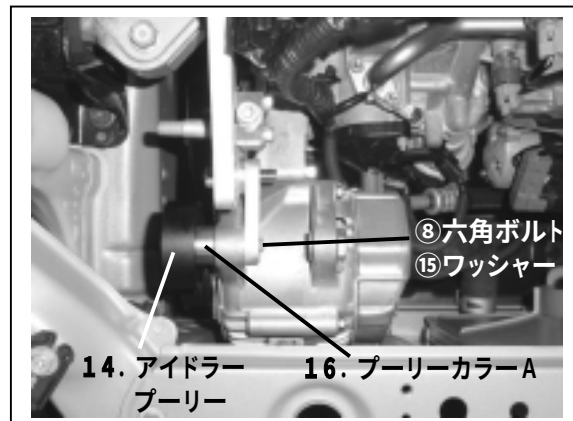


- (4) 19. ブラケットカラーB (1ヶ)、⑥フランジボルト (1ヶ) を使用して、6. オルタネーターブラケットを仮付けする。

- (5) ⑬フランジボルト (1ヶ)、⑬フランジナット (1ヶ) を使用して、オルタネーター下側を仮付けする。

※純正取り付け時と、上下を逆転させます。

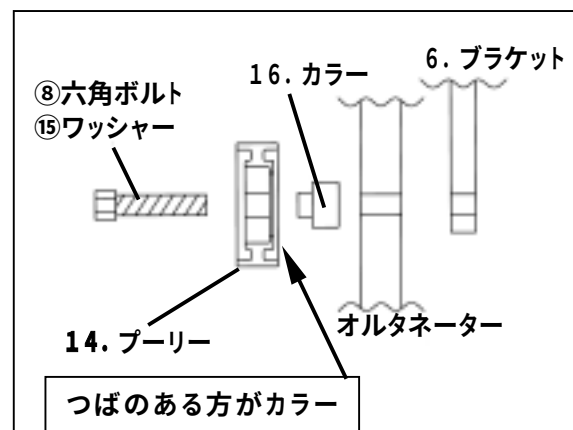
※⑬フランジボルトで締め付けた後に、⑬フランジナットで固定します。



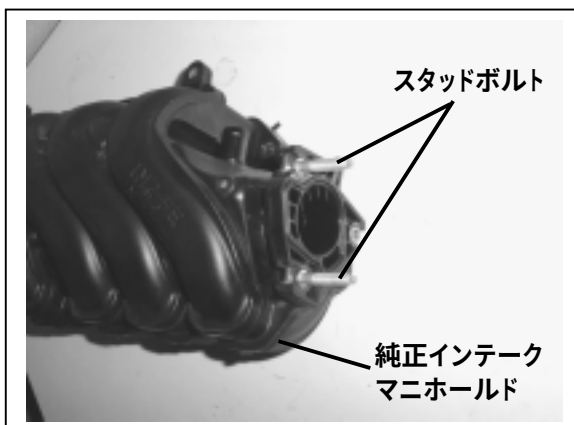
- (6) 16. プーリーカラーA、⑧六角ボルト (1ヶ)、⑮ワッシャー (1ヶ) を使用して、14. アイドラープーリー (1ヶ) を取り付け、オルタネーターを止めている上下のボルト2ヶ所を本締めする。

※14. プーリーは、つばのある方を16. カラー側にして下さい。

※オルタネーターが、エアコンパイプと当たる場合は、エアコンパイプの折れ・潰れ等注意到意して、曲げ加工し逃がして下さい。



- (7) オルタネーターのカプラーおよび B 端子を取り付ける。



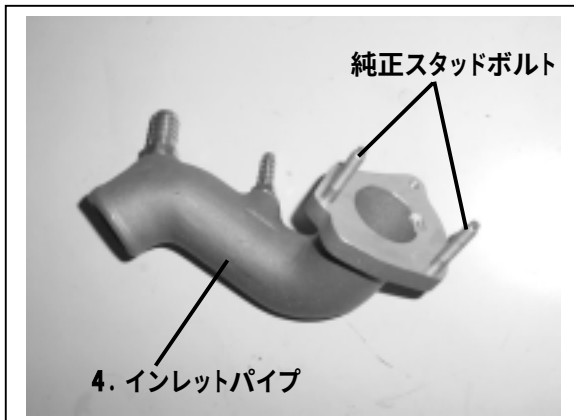
(8) エアバッグセンサーを元通り取り付け
る。

(9) 純正インテークマニホールドから、スタ
ッドボルト (2ヶ) を取り外す。

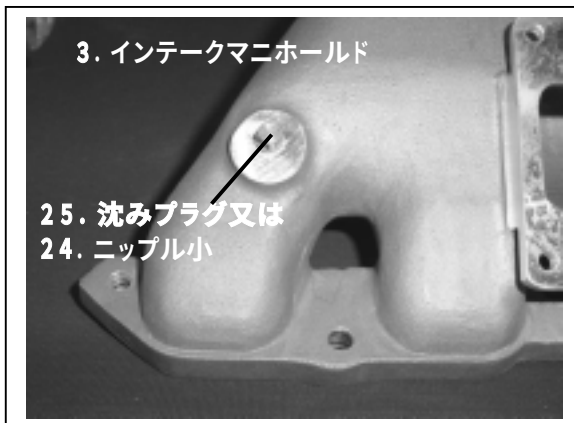


(10) 4. インレットパイプに、23. ニップル
大 (2ヶ) を取り付け。

※ シールテープもしくはシール剤を使用し
てください。



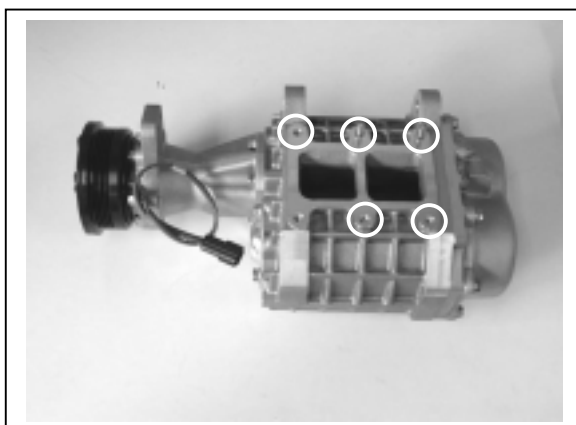
(11) 取り外した純正スタッドボルト (2ヶ)
を、4. インレットパイプに取り付ける。



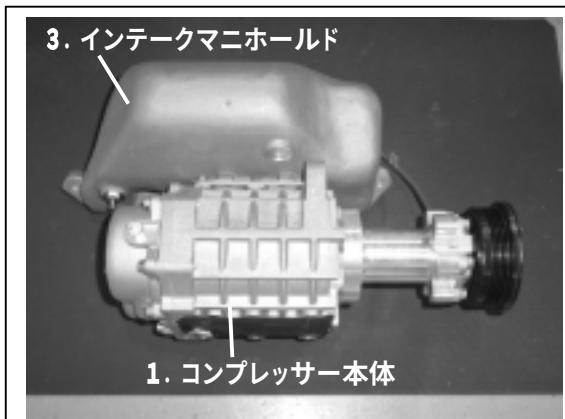
(12) 3. インテークマニホールドに 25. 沈
みプラグを取り付ける。

※ シールテープもしくはシール剤を使用し
てください。

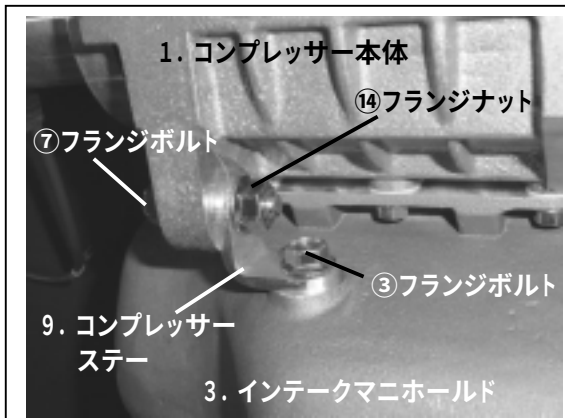
※ ブースト計を取り付ける場合は、
変わりに 24. ニップル小を取り付けブー
スト圧を取ってください。



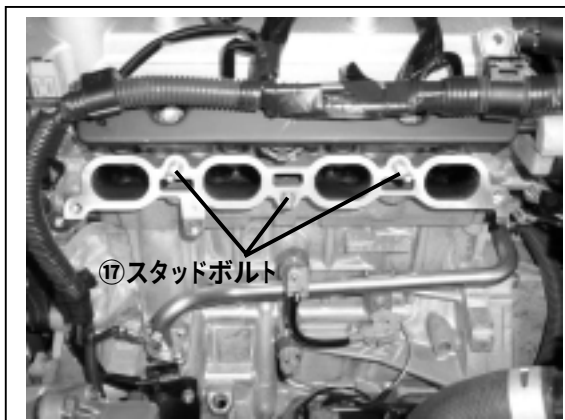
(13) 1. コンプレッサー本体の図の丸で囲んだ穴位置に、⑯スタッドボルト (5ヶ) を取り付ける。



(14) 5. コンプレッサーガスケット (1ヶ)、9. コンプレッサーステー、①フランジボルト (1ヶ)、③フランジボルト (1ヶ)、⑦フランジボルト (1ヶ)、⑫フランジナット (5ヶ)、⑭フランジナット (1ヶ) を使用して、1. コンプレッサー本体に、3. インテークマニホールドを取り付ける。
※⑯スタッドボルトのところに、⑫フランジナットを使用します。残り1つのボルト穴に、①フランジボルト (1ヶ) を使用します。

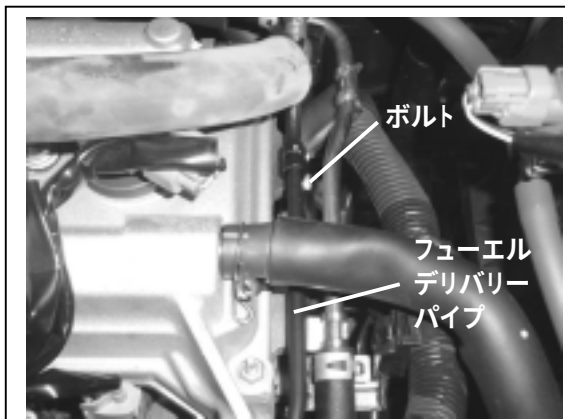


(15) エンジンのインテークマニホールド取り付け面に、⑰スタッドボルト (3ヶ) を取り付ける。

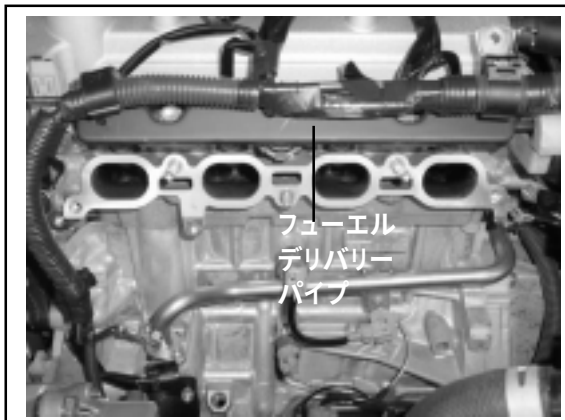




(16) 図位置の純正ミッションドッキングボルトを取り外す。



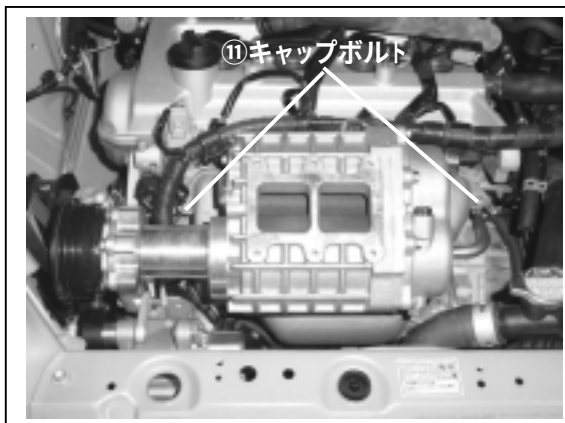
(17) フューエルデリバリーパイプステーのボルト (1ヶ) を外す。



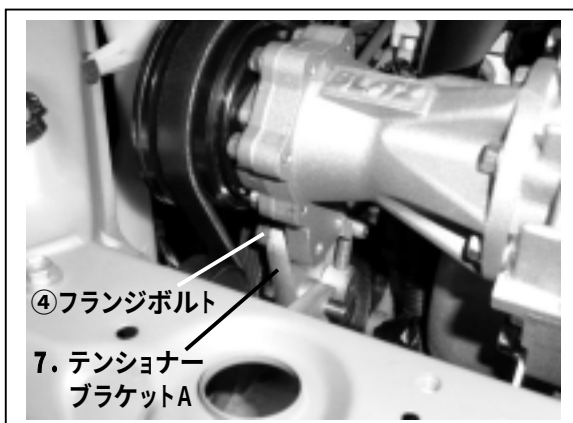
(18) 純正デリバリーパイプを止めているM8ボルト2ヶを取り外し、デリバリーパイプをずらす。

※ インジェクターがデリバリーパイプから抜けかないよう注意してください。インジェクターがデリバリーパイプから抜け、インジェクターのOリング部に燃料が付着すると、燃料漏れを起こしてしまう場合があります。

※ 燃料が流出する場合がありますので注意してください。

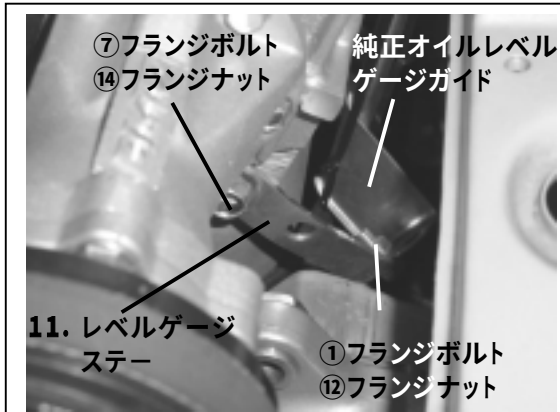


(19) 20. インマニガスケット、純正インテークマニホールドナット (2ヶ)、⑪キャップボルト (2ヶ)、⑬フランジナット (1ヶ) を使用して、(14) で組み付けた1コンプレッサー本体と3. インテークマニホールドを取り付ける。

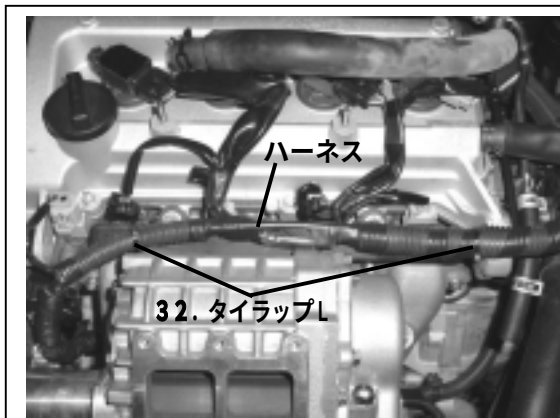


- (20) ④フランジボルト (2ヶ) を使用して、7. テンショナーブラケットAの上部の2ヶ穴と、1. コンプレッサー本体のノーズのボス部を取り付ける。

※仮付けしていた6. オルタネーターブラケットと7. テンショナーブラケットAを本締めして下さい。

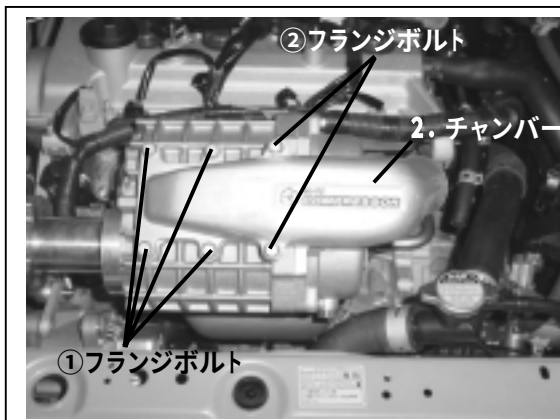


- (21) 9. コンプレッサーステーを留めている⑦フランジボルト⑭フランジナットを緩め、①フランジボルト (1ヶ)、⑫フランジナット (1ヶ) を使用して11. レベルゲージステーを取り付けて、純正オイルレベルゲージガイドを取り付ける。



- (22) (17) (18) で取り外したフューエルデリバリーパイプを、元通り取り付ける。

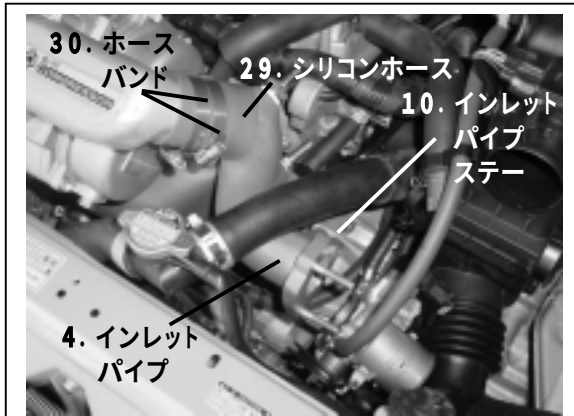
- (23) 32. タイラップLを使用して、ハーネスをフューエルデリバリーパイプに固定する。



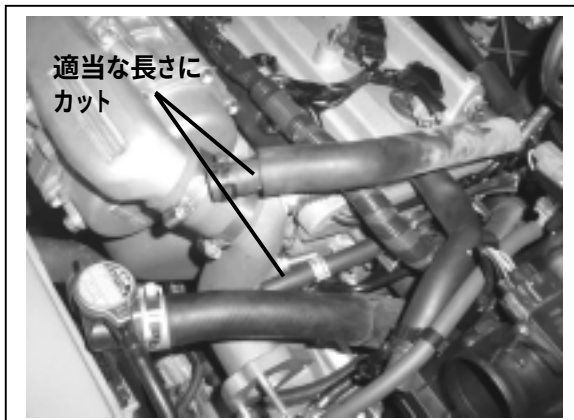
- (24) 5. コンプレッサーガasket、①フランジボルト (4ヶ)、②フランジボルト (2ヶ) を使用して、2. チャンバーを取り付ける。



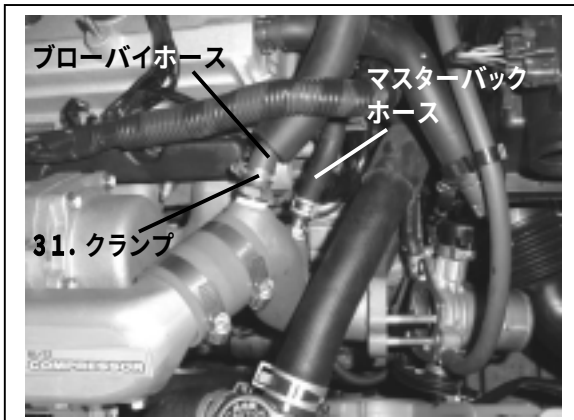
- (25) ミッションドッキングボルトが取り付け
ていたボルト穴に、⑧六角ボルト (1
ヶ)、⑮ワッシャー (1ヶ) を使用して、1
0. インレットパイプステーを仮付けす
る。

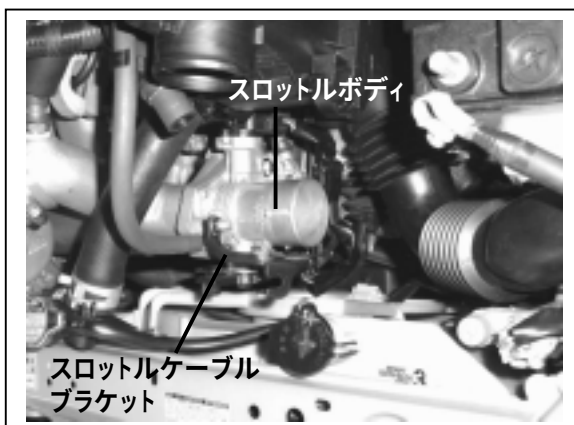


- (26) 29. シリコンホース、30. ホースバン
ド (2ヶ) を使用して、4. インレットパイ
プを仮付けする。
(27) ⑩キャップボルト (2ヶ) を使用して、1
0. インレットパイプステーに4. インレ
ットパイプを取り付ける。
(28) (25) で仮付けだった10. インレットパ
イプステーを本締めする。
(29) (26) で仮付けだった30. ホースバン
ドを本締めする。



- (30) 31. クランプ (2ヶ) を使用して、ブロー
バイホースおよびマスターバックホー
スを取り付ける。
※ブローバイホースとマスターバックホー
スは、若干長めになりますので、適
切な長さにカットして下さい。
※ブローバイホースは、 $\phi 19 - \phi 9$ の
異型ホースとなっています。ニップル
までの距離と調節しながら、 $\phi 9$ にな
るところまで切して下さい。

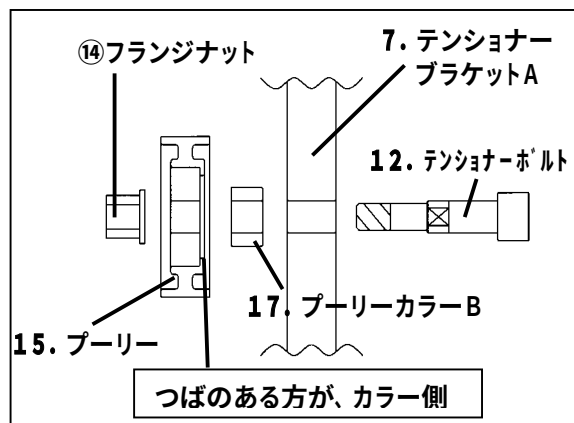




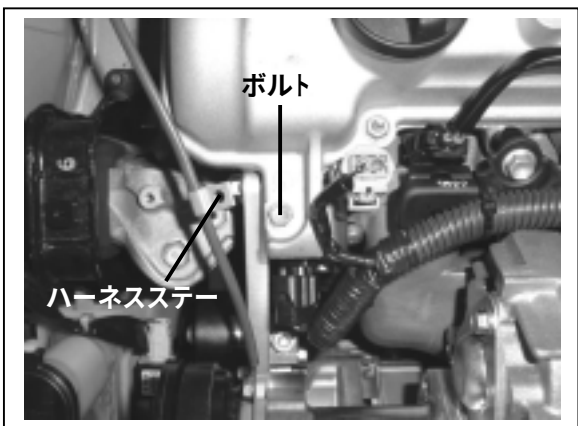
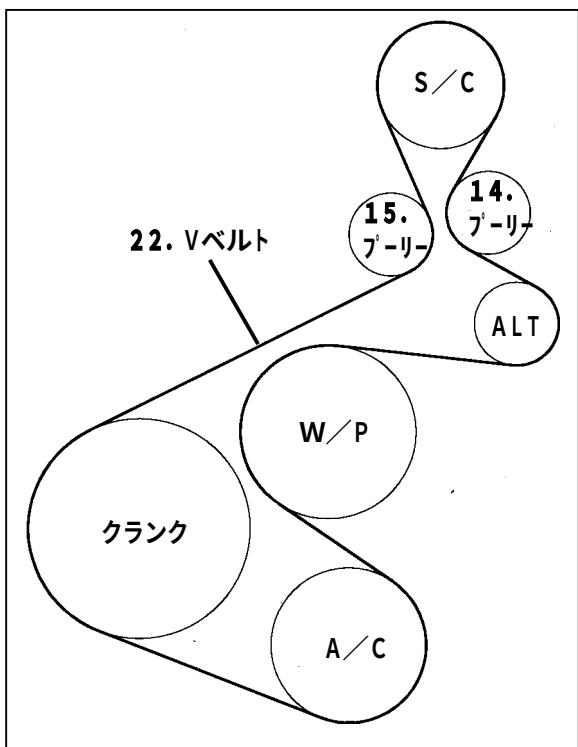
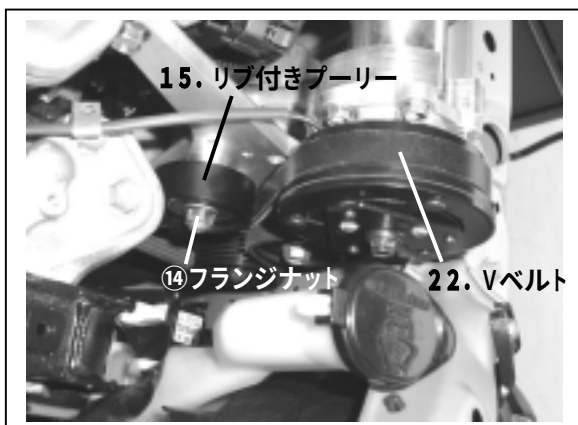
- (31) **21. スロットルボディガasketを挟んで、スロットルボディおよびスロットルケーブルブラケットを取り付ける。**
 ※純正ボルト、ナットを使用してください。



- (32) **純正エアクリーナーホースを取り付ける。**
 ※純正のホースバンドで取り付けてください。



- (33) **17. プーリーカラーB、⑭フランジナット(1ヶ)を使用して、15. リブ付きプーリー(1ヶ)を仮付けする。**
 ※ **15. プーリーは、つばのある方が、17. カラー側です。**



(34) 22. Vベルトを取り付ける。

注意 品番10147／10148キットには V ベルトが2本付属されています。

① 4PK1715

② 4PK1695

純正の V ベルトが4PK1180の場合は

① 4PK1715を使用してください。

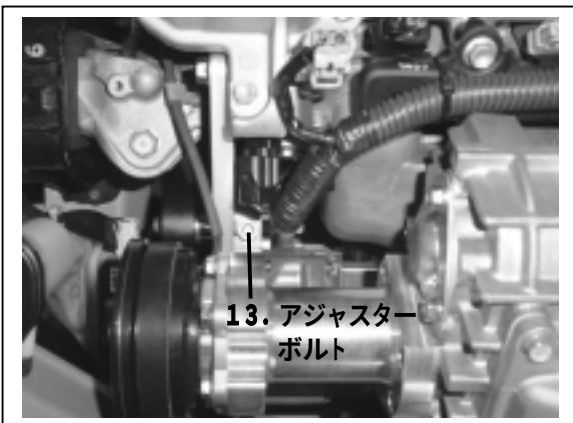
純正の V ベルトが4PK1170の場合は

② 4PK1695を使用してください。

※ 上記ベルトサイズは V ベルトの背面に印刷されています。

※ ウォーターポンプの背面プーリー部を最後にかけて下さい。

※ 22. Vベルトがかかりにくい場合は、15. リブ付きプーリーおよび14. アイドラプーリーのセンターボルト・ナットを緩めて、クランクプーリーを少し回転させながらベルトをかけて下さい。



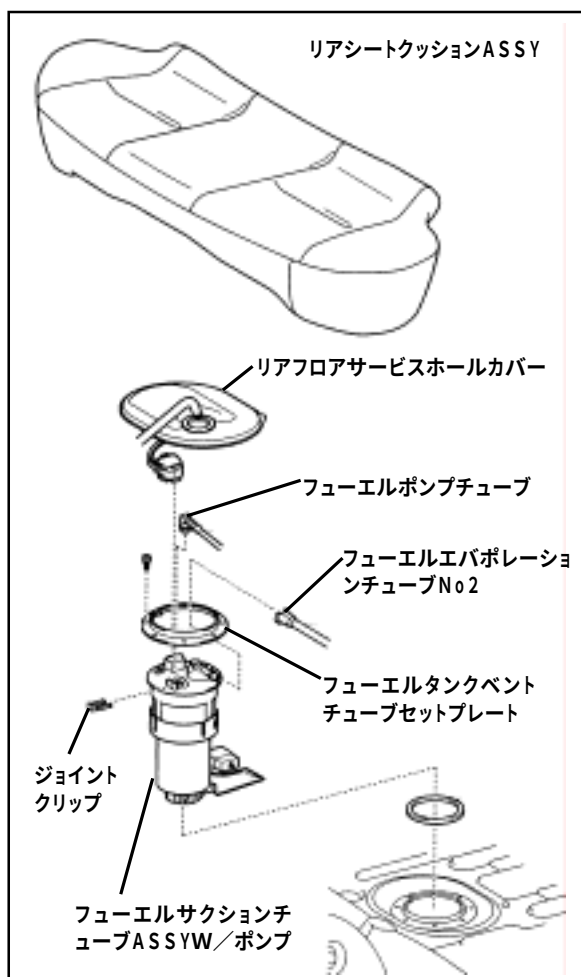
(35) 13. アジャスターボルトを調節して、22. Vベルトにテンションをかけ、15. リブ付きプーリーを本締めする。

※ Vベルトたわみ量 (mm)

	新品取り付け時	点検時
たわみ量	7～8.5	11～13

(36) 1. コンプレッサー本体のハーネスステーを、図のボルトに共締めして固定する。

(37) 26. レギュレーター交換



①**分割可倒式** ヘッドレストを取り外し、後部座席を前方に倒す。

一体可倒式 リアシートクッションASSYを取り外し、フューエルポンプコネクタを切り離す。

②リアフロアサービスホールカバーを取り外す。

③フューエルポンプチューブ切り離し

(a) 作業前にクリップ部に付着した泥などの異物を清掃する。

(b) ジョイントクリップをはずし、上方に引き上げる。

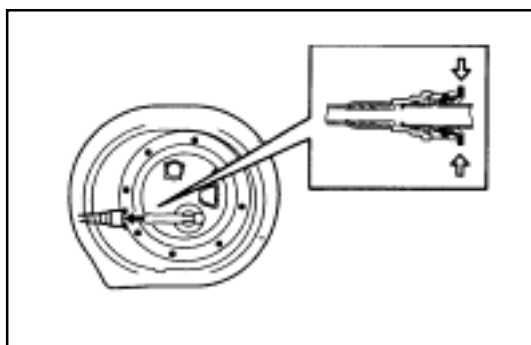
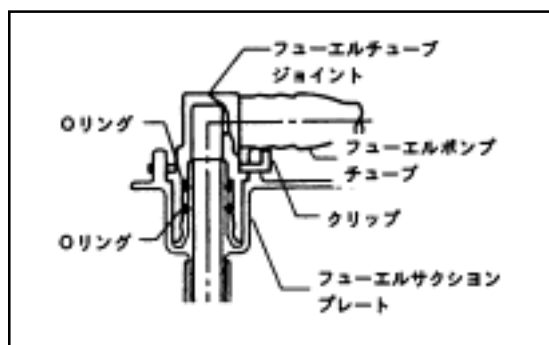
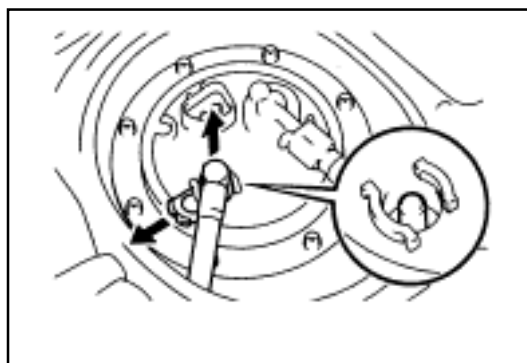
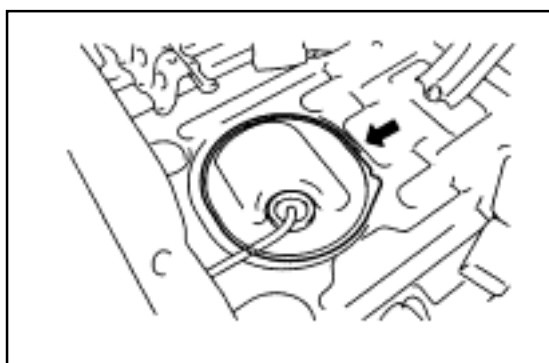
注意・ クイックコネクタは O リングによりナイロンチューブサクシジョンプレートのプラグ部をシールしているため、接続部の傷つき異物の付着に対し、十分注意して作業をおこなう。

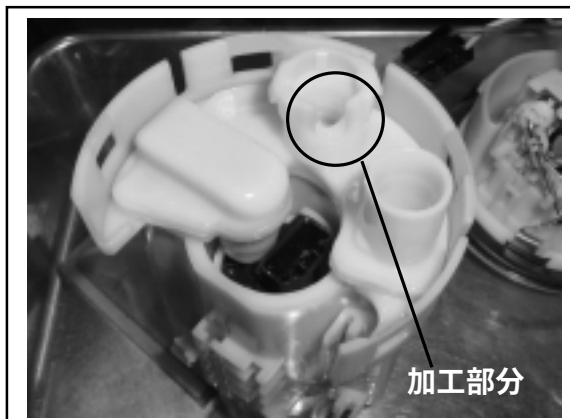
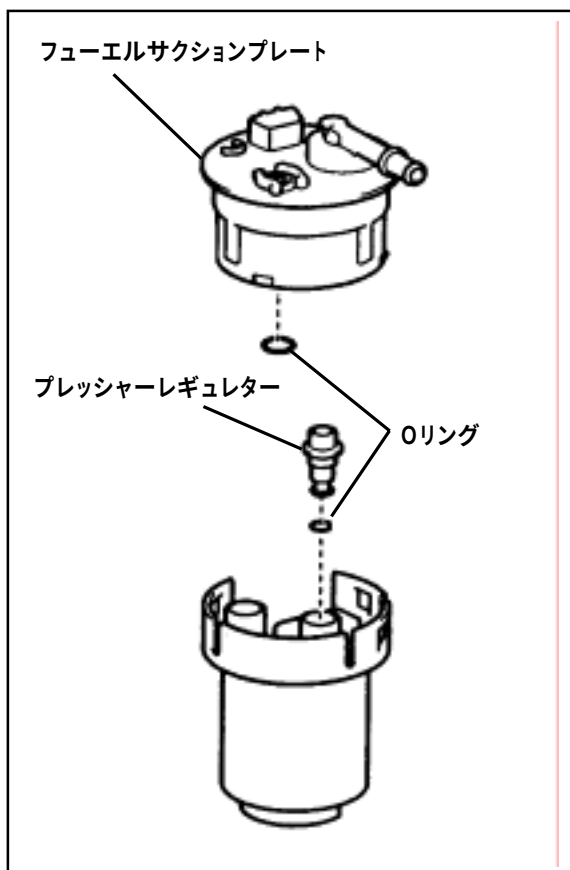
・ 脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。

・ ナイロンチューブを無理に曲げたり折ったり回転させたりしない。

・ プラグ部に異物などを付着させない。

・ 切り離した後、接続部をビニール袋で保護する。





④フューエルエバポレーションチューブ No2 切り離し

- (a) 作業前にクリップ部に付着した泥などの異物を清掃する。
- (b) フューエルチューブコネクタクリップ先端を指でつまんでコネクタを引き抜いて切り離す。

注意・ フューエルチューブジョイントは O リングによりフューエルポンプチューブとフューエルサクシヨンプレートをシールしているため、接続部の傷つき異物の付着に対し、十分注意して作業をおこなう。

- ・ 脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。
- ・ ナイロンチューブを無理に曲げたり折ったり回転させたりしない。
- ・ プラグ部に異物などを付着させない。
- ・ 切り離した後、接続部をビニール袋で保護する。
- ・ コネクタが固着している場合は、押したり引いたりして固着を解除する。

⑤フューエルタンクベントチューブセットプレートを取り外す。

⑥フューエルサクシヨンチューブ ASSY W/ポンプを取り外す。

⑦フューエルサクシヨンプレートを取り外す。

- (a) マイナスドライバーを使用して、ロックをはずしフューエルサクシヨンプレートを取り外す。

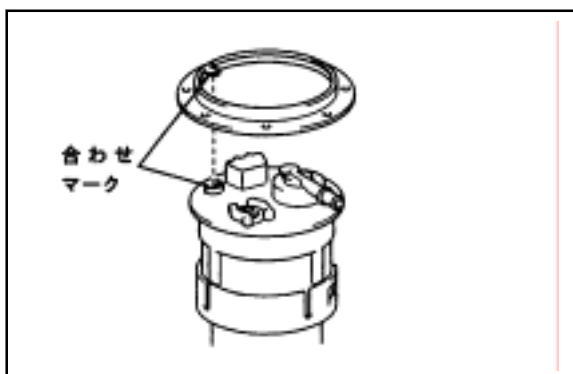
⑧フューエルプレッシャーレギュレーターを取り外す。

⑨図で指示している部分を、棒ヤスリなどを使用して図のように加工する。

⑩加工した部分に26. レギュレーターの突起部分を合わせ、図のように取り付ける。

注意・加工した部分でOリングを傷つけないよう十分注意して作業してください。

- ・加工後はフューエルサクシヨンチューブ ASSY W/ポンプを十分洗浄し、加工粉などを完全に取除いてください。
- ・加工粉などがフューエルサクシヨンチューブ ASSY W/ポンプ内に残っているとエンジン始動不良、エンジン不調等の原因になる場合があります。



⑪取り外しと逆の手順でフューエルサクシオンチューブ ASSY W/ポンプを取り付ける。

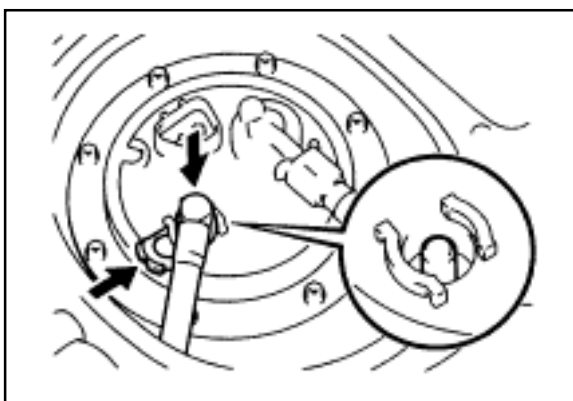
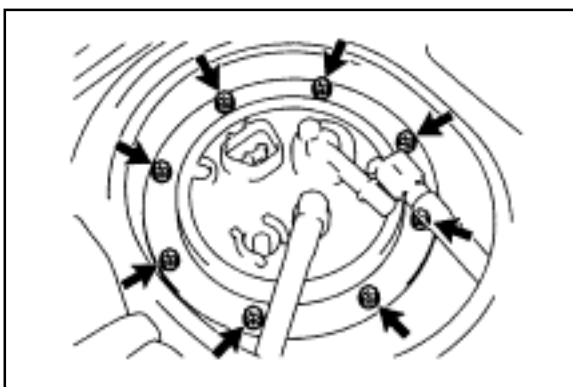
⑫フューエルエバポレーションチューブ No2 を取り付ける。

⑬フューエルポンプチューブを取り付ける。
※ジョイントクリップはロックが掛かるまでしっかりとめ込んでください。

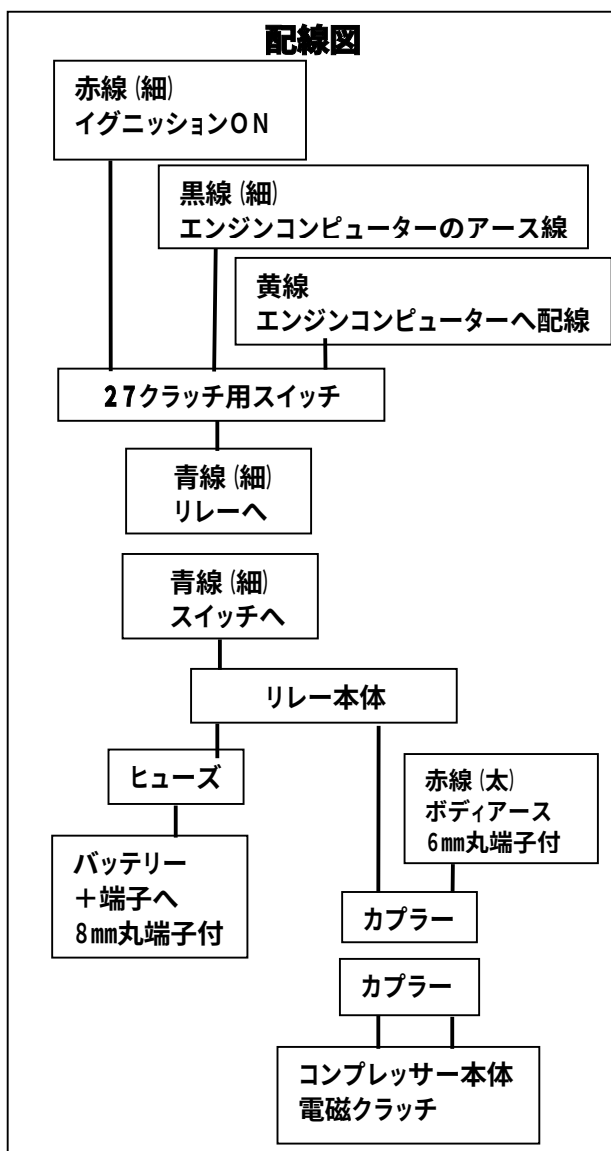
ジョイントクリップが外れると、燃料漏れを起こす恐れがあります。

⑭リアフロアサービスホールカバーを取り付ける。

⑮リアシートを元に戻す。



(37) 27. クラッチ用スイッチ、28. リレーハーネスの取り付け

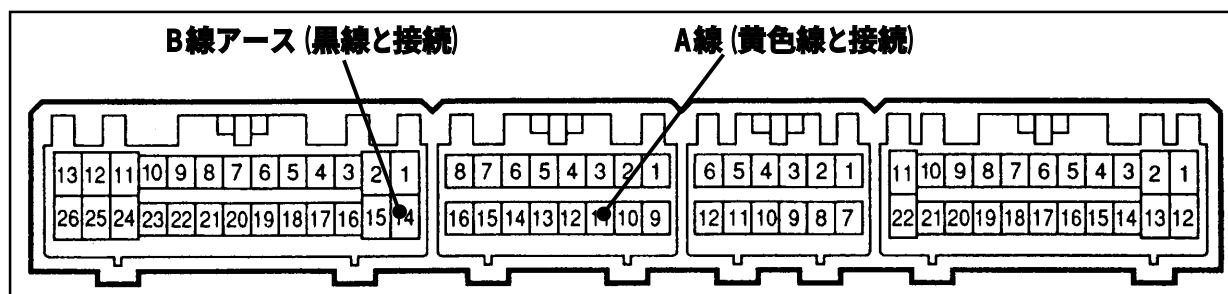


- ①助手席側グローブボックス下側のエンジンコントロールコンピューターカバーを取り外す。
 - ②8. リレーハーネスのカプラーを1. コンプレッサー本体から出ているハーネスカプラーに接続する。
 - ③①フランジボルトを使用して、26. リレーハーネスのリレー本体を、図の位置に固定する。
 - ④28. リレーハーネスのカプラーから出ている赤線(6mm丸端子)を、図のボディアース位置に取り付ける。
 - ⑤リレー本体から出ている赤線(8mm丸端子)をバッテリープラス端子に接続する。
 - ⑥リレー本体から出ている青線を、助手席側の室内に引き込む。
- ※ ハーネスを35. φ7コルゲートチューブで被覆し、プーリー・Vベルト等の可動部や高熱部に干渉しないよう、33. タイラップSで固定して下さい。
- ※ バッテリーに接続する線と、ボディアースする線を、間違えないように注意して下さい。

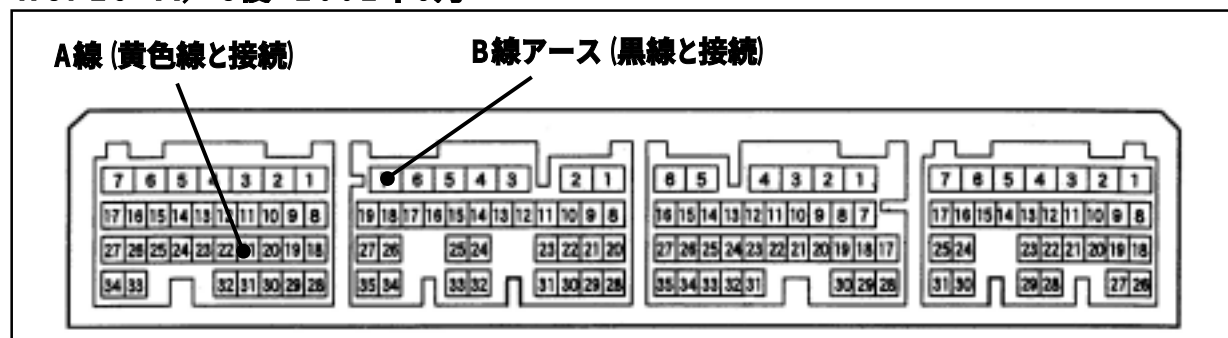
- ⑦ 27. クラッチ用スイッチの黄線を、下図のエンジンコンピューターの A 線に39. エレクトロタップまたは40. ギボシ・スリーブセットを使用して接続する。
- ⑧ 27. クラッチ用スイッチの黒線 (細) を、下図のエンジンコンピューターの B 線 (アース) に、エレクトロタップを使用して接続する。
- ⑨ 27. クラッチ用スイッチの赤線 (細) を、イグニッションON電源線に、エレクトロタップを使用して接続する。
- ※ 赤線 (細) は、適当な長さに切って使用して下さい。
- ⑩ 27. クラッチ用スイッチの青線を、(6) で室内に引き込んだ28. リレーハーネスの青線と接続する。

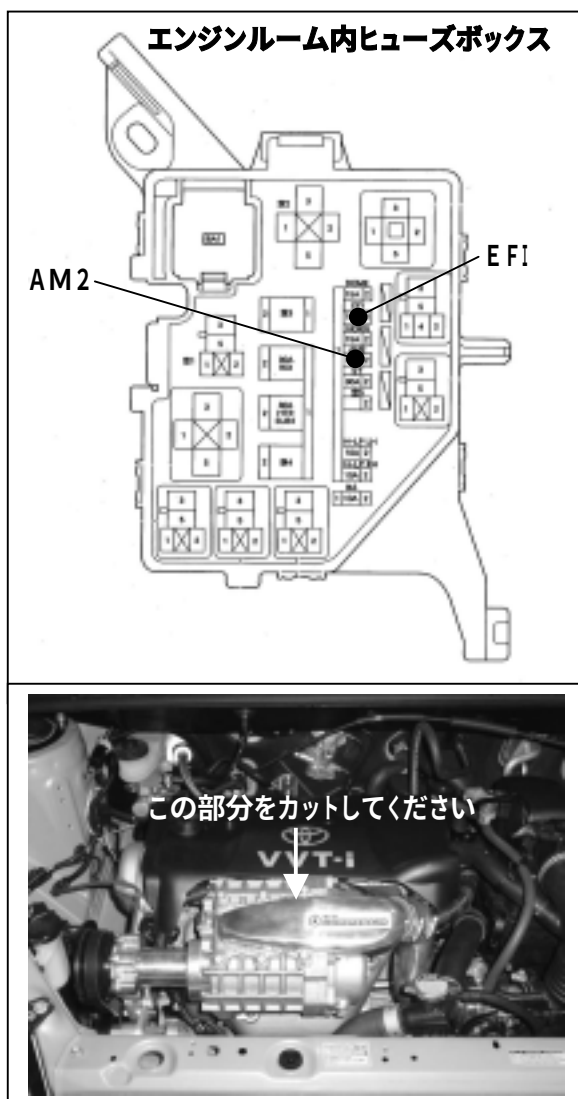
NCP13 M/C前 2000年10月～2002年7月

NCP12 1999年8月～2002年7月



NCP13 M/C後 2002年8月～





- ⑪ 27. クラッチ用スイッチを純正コンピューターの上側に貼り付ける。
- ⑫ エンジンコントロールコンピューターカバーを元のように取り付ける。
- ⑬ エンジンルームヒューズボックス内のAM2 (15 A) ヒューズを、36. ヒューズ (20 A) に付け替える。
- ⑭ バッテリーのマイナス端子を取り付ける。
- ⑮ エンジンルームヒューズボックス内のEFIヒューズ (15 A) を取り外し、15秒以上経過後ヒューズを接続する。

- (38) 純正エンジンカバーを取り付ける場合は、図のようにキット部品に干渉する部分を切り取って、取り付けてください。
- (39) イグニッションキーをONにし、アクセルペダルを踏み込み、途中でコンプレッサープーリーのクラッチがONになる事を確認してください。

※ エンジンを始動しなくてもクラッチはONになります。

- (40) エンジンを始動し、アイドリング状態で5～10分間放置する。

以上で、本キットの取り付けは終了です

(7) 取り付け後の確認

■ エンジン始動前の確認

- ・ パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか確認してください。
- ・ ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認してください。
- ・ ガソリンはハイオクガソリンが入っているか確認してください。

■ エンジン始動後の確認

- ・ コンプレッサーから異音等がないか確認してください。
- ・ 軽く空ぶかしをおこない、Vベルト、コンプレッサー等に異常がないか確認してください。(ベルトのスリップ、歯とび)
- ・ 冷却水、燃料、オイル等の漏れがないか確認してください。

(8) メンテナンス

快適に運転していただく為、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。
尚、本キットを取り付けた後に維持、管理する項目については必ず実施してください。

■ コンプレッサーキット装着時の維持、管理項目

- ・ エンジンオイルの定期的な交換 (推奨 5000Km以内で交換)
- ・ エンジンオイルフィルターの定期的な交換 (推奨 10000Km以内で交換)
- ・ ハイオクガソリンの使用 (レギュラーガソリンは絶対に使用しないでください)

※キットには専用ハイオクステッカーを付属しています。給油口内側に貼り付ける事をお勧めします。

■ Vベルトのメンテナンスについて

本コンプレッサーキットでは、Vベルトを利用しコンプレッサーを回転させ、過給を発生させています。定期的にVベルトの点検・張りの調整を行ってください。

- ・ Vベルトの点検・張りの調整 推奨5000kmで点検・調整

※Vベルトは、新品初期に一番伸びる特徴があります。新品Vベルトを取り付けた際は500km以内で、張りを調整して下さい。

- ・ Vベルトの交換 Vベルトの交換サイクルは車両の状態・運転の状況により異なります。Vベルトにヒビ、亀裂、歯とび等の劣化が確認された場合には交換をお勧めします。

※Vベルトの点検・張りの調整を行わない場合、Vベルトがスリップしてしまう事があります。Vベルトがスリップしている状態ではコンプレッサー本来の性能を発揮できない場合があります。

(9) 推奨パーツ

- ・ プラグ BLITZ Iridium Spec 77 T7340B-6 コードNo. 14436
- ・ プラグ BLITZ Iridium Spec 77 T7340B-7 コードNo. 14437
- ・ Vベルト (4PK1715) コードNo. 10124-004
- ・ Vベルト (4PK1695) コードNo. 10156-001

●製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛てにお願いします。

■連絡先 (株)ブリッツ

■TEL 0566-79-2200

■住所 愛知県安城市高棚町大道40-1 ■FAX 0566-79-2070

製造・発売元	株式会社 ブリッツ
取扱説明書番号	10152004
初版作製年月日	2003. 6. 1

BL⚡TZ